医療法人社団川満恵光会　介護老人保健施設　みんなの笑顔

ニコニコ

2026年10月
秋号
Vol.12

利用者様の生活、当施設の運営方針等をお知らせする広報誌です









災害訓練

ライフラインが停止した場合を想定し、非常食調理訓練を実施しました。職員が実際に調理・盛り付け・試食を行い、「保存や配膳はどのように行うか」「利用者様が安全に召し上がれるか」「味はどうか」などを確認しました。また、消防署の協力のもと、火災を想定した避難訓練も実施しました。希望された利用者様には、煙が充満した状況では視界がどうなるのか等の体験をしていただきました。災害はいつ、どのような状況で発生するか分かりません。今後も定期的な訓練を重ねるとともに、必要な備品や非常食の確認・整備を行い、万が一の際にも落ち着いて対応できるよう備えてまいります。

（BCP委員会）

暑さに負けない身体づくり

8月21日、地域貢献活動として、地域のケアマネジャーや多職種の皆様を対象に、第2回勉強会を開催しました。今回は「暑さに負けない身体づくり」をテーマに、管理栄養士と作業療法士が、夏場の低栄養を防ぐ食事、栄養バランス、筋肉と体内水分の関係、続けられる運動等について、実体験を交えて紹介しました。

参加者からは、「水分補給の仕組みは取り入れやすいので実践したい」「筋肉が体内の水分保持に関わることを初めて知った」「高齢者が続けやすい運動を勧めたい」といった声が寄せられました。また、栄養補助食品の試食についても、「ひと工夫で食べやすくなることを知った」「補食も美味しく食べる工夫が大切」「必要な方に勧めたい」など、日々の支援につながる感想をいただきました。今後も地域の皆様に役立つ情報を発信していきます。次回11月には「転倒予防」をテーマに第3回勉強会を開催予定です。





（管理栄養士）

介護保険3施設ってどんなところ？



こんにちは。相談室です。
今回は介護保険入所施設の種類、特に「介護保険３施設」と言われる代表的な施設について簡単にご紹介をしてまいります。

現在皆様がご利用されている「介護老人保健施設（老健）」は、介護、看護、リハビリを総合的に提供し、制度上は在宅復帰を目的とする施設です。リハビリ病院的な位置づけをされており、永続的な入所を担うものではありません。病状、体調が安定している要介護認定を受けた方が対象です。

「特別養護老人ホーム（特養）」は最も代表的な施設ではないでしょうか。「ホーム」という名称のとおり、永続的な入所を前提とし、介護を受けながら生活をするための施設です。原則として要介護３以上の介護認定を受けている方が対象となります。入所までの待機期間は非常に長期になりがちです。近年開設の施設は殆どがユニット型（全室個室）となっており、以前に比べて利用料金が高めに設定されています。

「介護医療院」は、長く続いた介護療養型医療施設に成り代わり、医療的課題を持った方が長期療養をするための施設です。老健や特養では対応が難しい、医療的なニーズのある方が主に対象になります。

この他にも、有料老人ホームやグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等、様々な施設があります。同じ種類の施設でもそれぞれに運営方針があり、できること、できないことが異なることも多いです。

施設を探す際、立地や費用、受けられるサービス、入所までの期間等、全てのご希望を満たす施設を見つけるのはなかなか困難です。数多くのニーズの中で何を最優先とするか、検討する必要があるかと思います。相談室（ケアマネジャー・支援相談員）でご相談をお伺いいたしますので、お声掛けください。

（相談室）

シリーズ 委員会のご紹介
食事委員会

委員会では、食事を「美味しく、楽しく、安全に」召し上がっていただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。利用者様の声や日々のご様子をもとに食事内容を検討するほか、各部署から寄せられた意見や要望についても話し合い、より良い食事の提供につなげています。また、LIFE※から提供される全国のデータと当施設の状況を比較し、食事・栄養ケアの現状を振り返りながら、今後の取り組みに活用しています。食事レクにも力を入れており、春には桜を眺めながら甘酒を楽しみ、新茶会では新茶を味わい、秋には月見団子作りを行ったりと、季節を感じられる機会を設けています。

これからも利用者様の「食べる楽しみ」を大切にし、安心してお食事を楽しんでいただける環境づくりに取り組んでまいります。



※LIFE：介護サービスに関する情報を集め、全国データと比較・分析した結果を振り返ることで、より良いケアにつなげるための仕組み

お掃除ロボット

デイフロアに業務DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として、掃除ロボット「Whiz」を導入しました。清掃業務の一部をロボットが担うことで、職員の負担軽減や業務の効率化を図り、利用者様と関わる時間の確保につなげています。職員からは「思ったよりたくさんゴミを集めてくれて便利」「業務負担が軽減できるし、愛らしくて癒やされる」と好評です。

今後も新しい技術を活用し、より良いサービスの提供に努めてまいります。（通所リハビリ）



介護老人保健施設
みんなの笑顔
03-3921-2525
info@kawamitsu.or.jp
https://www.kawamitsu.or.jp/home.php